



SICHER

ニュース 2011年度 No.1

《H23年度芝本産業株式会社 事業計画発表会》



恒例の事業計画発表会を平成23年1月4日に開催しました。芝本社長より経営戦略や一年の抱負などを話されました。その後、各部門より目標の発表を行い、気持ちも新たに新年度のスタートをきりました。

また、社長より表彰がありました。

☆永年勤続表彰

10年・・・小杉 高司・芝本 誠

15年・・・竹中 秀夫

20年・・・芝本 尚輔

25年・・・与久田 時芳

☆優良社員表彰・・・黒田 直寛
村上 和平

☆特別功労彰・・・宮口 千裕

☆優良事業部・・・環境管理部営業課

研修：コンサルタント 青野氏

「強いチームをつくるための研究」をテーマにディスカッション形式で研修を行い、各グループ毎に発表を行いました。



平成23年度 キーワード

「頼まれごととは試されごと」

《東日本大震災の救援活動》

3月11日太平洋三陸沖を震源とした東北地方太平洋沖地震が発生しました。早速、兵庫県環境整備事業協同組合による東北地方太平洋沖地震無償団体救援事業に参加しました。環整連災害対策本部の指示により、7社、15名による救援活動に芝本産業も特殊車両を持ち込み、被災地へ向けて出発しました。兵環協理事長で、SICHERグループの芝本社長より今回の参加に至る経緯を次のように話されました。

「ボランティアとは、ただ無償奉仕を指すのではない。 ボランティアとは、プロが行うその道の無償奉仕でなければならない。アマチュアではなく、プロが責任を持って行うことがボランティアなのです。」 約20年前に参加したヨーロッパ環境ミッションで学習した言葉です。
その翌日に起こった阪神淡路大震災で私の頭をよぎるこの言葉を実行に移しました。私がプロとして私にしか出来ないボランティアとはなんだろう？被災地に仕事を通して貢献できることは？それはバキュームカーを走らせることでした。それから約4ヶ月半の間、芝本のバキュームカーは芦屋の町を離れませんでした。そしてその後のトリアージシートの開発、タッグとのキットの商品化も同じ理念です。今回も走らせる。それは私の使命です。私たちにしか出来ないボランティア。少しでもお役に立てればとの思いはみんな一緒です。今回は被災地の環境調査も加わります。南三陸町の被災者から飲料水水質検査の依頼が・・・昨日ペットボトルで3本届きました。早期復興を願って共に頑張りましょう。
芝本 忠雄



「17年前、阪神淡路大震災にて緊急災害支援活動を経験し、もう二度とこの様な災害を目にする事はないと思っていましたが、この度の東日本大震災の現場で目にしたのは、私の想像を遥かに超えていました。今回、環整連の緊急支援活動に参加し、改めて、弊社の社会的役割の大きさを実感し、そしてその活動を通じ、改めて社会の役に立てる事の素晴らしさを再認識できました。やっぱり、みんなの幸せの為に弊社は存在するのです。」
芝本 尚輔

「環境管理部に採用となり、幾日も過ぎていない私ですが、環整連による無償支援での兵環協の活動で、東日本大震災の被害を受けた、岩手県大船渡市し尿処理場の緊急災害支援に参加出来た事を誇りに思い、これからも頑張ります。
深水 智春

※新入社員については次号にて紹介します。

ありがとう！ みんなの厳しい姿勢。
ありがとう！ みんなの直向な汗。
ありがとう！ みんなの元気な笑顔。

